

## 牛の呼吸器病に注意しましょう

寒さが厳しさを増し、群飼している牛飼養農家を中心に呼吸器病の発生が拡がりをみせています。当所管内においても昨年末頃から数件の農家において集団で呼吸器病の発生が報告されています。

呼吸器病はウイルスや細菌などの感染も含め様々な原因がありますが、今回牛RSウイルスが高率に分離されており、重篤化し死亡例も確認されています。牛RSウイルスは通年での発生を認めるものですが、とくに寒い時期に発生が多いとされています。

また牛RSウイルス感染は他の呼吸器病に関連する細菌やマイコプラズマの感染も合わさって重篤化する傾向にあります（牛呼吸器病症候群：BRDC）。治療に関しては抗生物質などによる二次感染の防止や補液など対症療法しかありません。日頃から換気や防疫対策、ワクチンを利用した予防対策が重要になってきます。

### <呼吸器病は予防対策が重要>

#### ①畜舎の環境整備

密飼いを避け、換気よくしましょう。但し、牛体に直接当たる風は避けなければいけません。パドック、ハッチごとの接触を防ぐことも検討しましょう。

#### ②畜舎の清掃・消毒

床は常に乾燥させ、清潔にしましょう。下痢予防にも通じるものです。

#### ③子牛の保温

温熱ヒーター、ネックウォーマーやジャケットの利用を検討しましょう。

#### ④導入牛の隔離・観察

導入時のウェルカムショットなどを検討しましょう。

#### ⑤ワクチンの投与

呼吸器病関連のワクチン利用の検討をしましょう。農場や導入形態の違いによるワクチンの種類、接種時期の検討も必要です。農場や地域ごとに効果的なワクチンプログラムの作成が望まれます。

日頃からの飼養衛生管理基準を徹底するとともに、牛舎内での呼吸器病の拡がりがある、または、ワクチン接種しているにもかかわらず呼吸器病のまん延があるような場合はワクチンプログラムの見直しも検討しなければなりません。担当獣医師または家畜保健衛生所へお問い合わせください。